

研修参加報告書

令和 2年 10月 19日

会 派 名 公明党市議団
会派代表者 鈴木 貢
)

(参加者：石原資泰

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 2年 10月 13日 (火)
研修時間	13:00 ~ 17:00
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース]「地方財政制度の基本と自治体財政」 ・ 地方財政制度の基本 ・ 地方財政のよくある質問 その1 臨時財政対策債は本当に確実に償還できるか (講師：関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西砂千夫)

②

年月日	令和 2年 10月 14日 (水)
研修時間	9:25 ~ 17:00
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース]「地方財政制度の基本と自治体財政」 ・ 財政健全化における川西市の取組 (講師：兵庫県川西市 副市長 松木茂弘) ・ 自治体財政診断の考え方と手法 (講師：公益財団法人アイヌ民族文化財団 専務理事・事務局長 今井 太志) ・ 意見交換

	(講師：関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西砂千夫)
--	---

③

年月日	令和 2年 10月 15日 (木)
研修時間	9:00 ~ 13:45
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	<p>令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース]「地方財政制度の基本と自治体財政」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方財政のよくある質問 その2 社会保障給付増を交付税は支え切れるか ・地方財政のよくある質問 その3 経常収支比率は80%が適切か ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・単独事業分の交付限度額の算定方法 <p>(講師：関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西砂千夫)</p>

研修参加報告書

①

年月日	令和 2年 10月 13日 (火)
研修時間	13:00 ~ 17:00
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース]「地方財政制度の基本と自治体財政」 ・ 地方財政制度の基本 ・ 地方財政のよくある質問 その1 臨時財政対策債は本当に確実に償還できるか (講師：関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西砂千夫)
■目的	・ 地方財政制度の基本や仕組みについて学び、自治体財政の現状や様々な課題について考える。 また、自治体財政の現場の状況等を学ぶことにより、これからの議員や議会の役割について理解を深める。
■内容	3時限目～4時限目 13:00～15:35 【講義】地方財政制度の基本 地方財政制度の基本と自治体の財政運営 ・ 国と地方との行政事務の分担 ・ 地方財政計画（通常収支分）の歳出の分析 ・ 地方財源保障にかかる法律の規定 ・ 国の予算と地方財政計画（通常収支分）との関係 ※令和3年度の地方財政がどうなのか？ ・ 財源保障の定義式 ・ 地方交付税法における単位費用の定義 ・ 標準的に算定することの意味 ・ 自治体の財政運営 5時限目 15:50～17:00 【講義】地方財政のよくある質問 その1 臨時財政対策債は本当に確実に償還できるか

■所感

国の予算と地方財政との関係、特に地方財政計画の歳入と歳出の関係について同額にしている理由、歳入と歳出の各内容の項目について深く学ぶことができた。

研修参加報告書

②

年月日	令和 2年 10月 14日 (水)
研修時間	9:25 ~ 17:00
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース]「地方財政制度の基本と自治体財政」 ・ 財政健全化における川西市の取組 (講師：兵庫県川西市 副市長 松木茂弘) ・ 自治体財政診断の考え方と手法 (講師：公益財団法人アイヌ民族文化財団 専務理事・事務局長 今井 太志) ・ 意見交換 (講師：関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西砂千夫)
■目的	・ 地方財政制度の基本や仕組みについて学び、自治体財政の現状や様々な課題について考える。 また、自治体財政の現場の状況等を学ぶことにより、これからの議員や議会の役割について理解を深める。
■内容	1 時限目～2 時限目 9:25～12:00 【事例紹介】 財政健全化における川西市の取組 ・ 川西市の概要 (人口: 157,778 人、市域面積: 53.44 km ² など) ・ 川西市の財政状況 ・ 川西市における財政健全化への取り組み (1) 歳出のコントロール⇒特に人件費と公債費が重要 (2) 財政運営のウイークポイントにメスを入れる (3) PFI 事業の導入 3 時限目～4 時限目 13:00～15:35 【講義・演習】 自治体財政診断の考え方と手法 ・ 財政状況が悪い状態とは 1. 「赤字」がある 1 年間の間に入ってきたお金 (歳入) より、使ってしまったお金 (歳出) が多い場合、その余計に使ってしまった額を赤字という自治体は、法や条

例に基づき、住民が支払うことを了解した税や公共料金を基本的な歳入として、議会の議決を得た予算に従って支出する仕組みとなっている。赤字があるということは、この大原則に反した状態

2. 「貯金」が少ない

年度末にある「貯金」とは、現金でもっているもの、基金としてもっているものなどがあり、両方を捉えてここでは「貯金」としている。

3. 「借金」が多い

基本的には地方債がまさに「借金」であるが、自治体は他にも借金と同種のものとして、債務負担行為として将来に支払いを約束した額や、職員の退職金の支払見込額などがあり、そうしたものをすべてひっくるめてここでは「借金」と考える。

・貯金・借金の見方

・他の市町村と比較する

比率化して財政指標で比べる

基金額比率

将来負担比率

・自分のまちの基金額比率を計算

①平成 30 年度の基金額比率を計算

②基金額比率と将来負担比率を表にプロット

5 時限目 15 : 50 ~ 17 : 00

【演習】意見交換

参加者を少人数の班分けをしてグループ内で意見交換を実施

■所感

兵庫県の川西市の現副市長からの財政健全化への実際的な取り組みをお聞きして、財政運営のブレーキとアクセルの使い方などバランスを考えた運営の難しさなど生々しいお話が聞けてとても参考になった。

また、3 時限目からの講義では、江南市の平成 26 年度から 30 年度までの「財政状況資料集の各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）」を使って、自分で基金額比率と将来負担率を計算し表へプロットした。

結果、どちらかというと平均的な財政状況となった。

5 時限目の意見交換会では、他の市町の新型コロナウイルスの対策、小中学校 G I G A スクール事業、避難場所など様々な話が聞けて、とても参考になった。

研修参加報告書

③

年月日	令和 2年 10月 15日 (木)
研修時間	9:00 ~ 13:45
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	<p>令和2年度市町村議会議員研修 [3日間コース]「地方財政制度の基本と自治体財政」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方財政のよくある質問 その2 社会保障給付増を交付税は支え切れるか ・地方財政のよくある質問 その3 経常収支比率は80%が適切か ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・単独事業分の交付限度額の算定方法 <p>(講師：関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西砂千夫)</p>
■目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地方財政制度の基本や仕組みについて学び、自治体財政の現状や様々な課題について考える。 また、自治体財政の現場の状況等を学ぶことにより、これからの議員や議会の役割について理解を深める。
■内容	<p>1時限目 9:00~10:10 【講義】地方財政のよくある質問 その2 社会保障給付増を交付税は支え切れるか</p> <p>2時限目 10:25~11:35 【講義】地方財政のよくある質問 その3 経常収支比率は80%が適切か 実質単年度収支を見て財政診断をするのが一番大切</p> <p>3時限目 12:35~13:45 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・単独事業分の交付限度額の算定方法</p>

■所感

最終日は今までの復習と質問会となった。財政調整基金について、江南市の規模だと10%~15%はあると望ましいとのこと。本来、基金は自然災害時の対応などに使うために必要としているが、実際に大規模自然災害が発生した場合は、特別交付税が出ることなどを知ることができた。

今回、学んだことを更にしっかりと復習して、今後の議員活動に活かしていきたい。